

# NeoFace Monitor

顔認証PCセキュリティソフトウェア

2025年6月

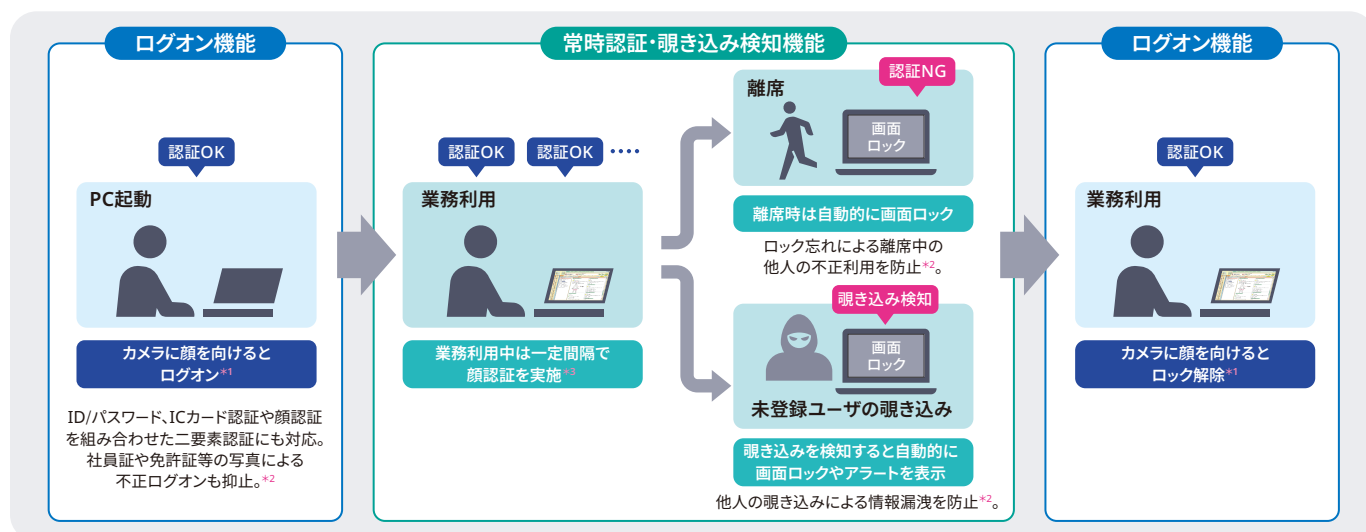


※画面はイメージ画像です

# カメラに顔を向けるとログオン。 顔認証でPCの大切な情報を守ります。

## 業務で取り扱う大切な情報や個人情報へのアクセスを顔認証によりガード

NECの顔認証技術を採用した顔認証PCセキュリティソフトウェア「NeoFace Monitor」で、PCのセキュリティを強化します。パスワードを入力しなくても、カメラに顔を向ける動作でPCへログオン、ロック解除が可能です<sup>\*1</sup>。長いパスワードを入力したり複雑なパスワードを考える必要はありません。



## 顔認証によるログオン機能

### 多様な環境での顔認証運用が可能

マスク着用時の認証が可能です。マスクの有無判定にて、状況に応じた認証処理を行うことで精度を保った認証を行います。

「顔動き検知機能」では、認証時にランダムに指示された顔の動きをチェックすることで、写真・動画等によるなりすましを防止します。

オフラインで顔認証を利用することも可能です。



### 複数の認証方式でよりセキュアに

顔認証に加え、ID/パスワードもしくはICカード認証を組み合わせた二要素認証で、セキュリティレベルを強化できます。

<sup>\*</sup>ICカード認証をご利用の際には、別途お客様にてカードおよびカードリーダーをご用意頂く必要があります。  
<sup>\*</sup>アプリログイン代行認証およびAPI連携の認証において、ICカード/USBデバイス認証はご利用頂けません。



顔認証



ID/パスワード認証

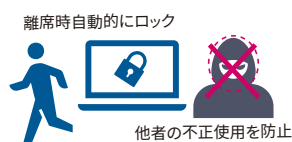


ICカード認証

## 常時認証・覗き込み検知機能で他者の不正利用を防止

ログオン後、一定間隔<sup>\*3</sup>で顔認証を行います。常時認証機能により利用者の離席時は認証NGとなり自動的に画面をロック。

覗き込み検知機能により未登録ユーザを検知の際は自動的に画面ロックやアラート表示を行います。



<sup>\*1</sup>：待機状態から認証可能状態に切り替えるためにはキーボードまたはマウスなどの操作が必要です。 <sup>\*2</sup>：あらゆる不正ログオンの防止、覗き込みの検知を保証するものではありません。  
<sup>\*3</sup>：認証間隔は設定により変更可能です。 <sup>\*4</sup>：仕様によって利用できないカメラもあります。

## 専用認証デバイスが不要

PC内蔵カメラまたは市販のWebカメラをご利用いただけます<sup>\*4</sup>。専用の認証デバイスを用意する必要なく、顔認証によるPCのセキュリティの強化を図ることが可能です。

### NECが開発した世界最高レベルの顔認証技術を採用

米国国立標準技術研究所 (NIST) による顔認証技術のベンチマークテストで世界第1位を獲得したNECの顔認証技術を本製品に搭載しております。

<sup>\*</sup>米国国立標準技術研究所(NIST)による顔認証ベンチマークテストでこれまでにNo.1を複数回獲得 <sup>\*</sup>NISTによる評価結果は米国政府による特定のシステム、製品、サービス、企業を推奨するものではありません。

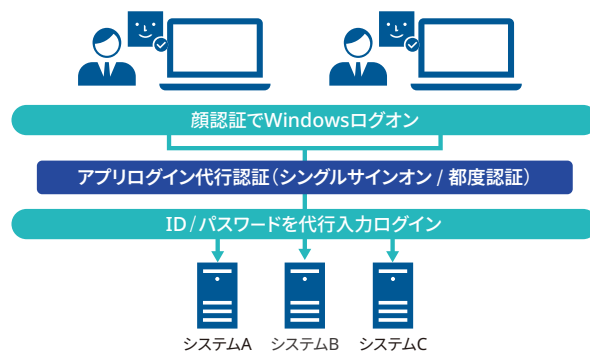
認証技術の詳細は、<https://jpn.nec.com/biometrics/face/index.html> をご覧ください。

## アプリケーションのシングルサインオン

業務アプリケーションに対して、NeoFace MonitorがID/パスワードを代行入力。これにより、業務アプリケーション立ち上げ時のID/パスワード入力の手間が省けます。顔認証、顔認証+パスワードによる都度認証を実施することも可能です。

※ICカード認証には対応していません。

※すべてのアプリケーションに対し、動作を保証するものではありません。また、WebブラウザはEdgeでの動作確認しております。



## 顧客管理や勤怠管理に組み込み可能なAPI

業務アプリケーションのログインや出退勤時間の打刻などさまざまな場面で顔認証を活用可能なAPIを提供します。

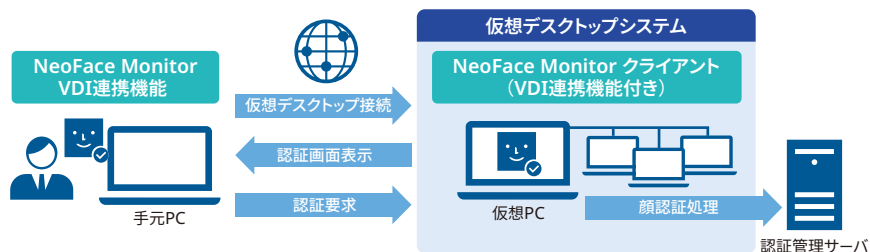


## 仮想デスクトップ対応

手元PCと仮想デスクトップの双方で顔認証が実施できるため、OSログインから仮想デスクトップのアプリケーションのログインまでのセキュリティ及び利便性を強化します。

※対応する方式は下記の仮想デスクトップ方式 (VDI) のみとなります。  
Horizon, Citrix Virtual Apps and Desktops, Microsoft リモートデスクトップサービス, VirtualPC Center

※本機能の利用には、手元PC/仮想デスクトップへの双方にNeoFace Monitor クライアントのソフトウェアのインストールが必要となります。



## 主な管理者機能

### 初期登録を簡略化する一括登録

CSVファイルでの一括登録/修正/削除ができます。また社員証等の顔画像を使った一括登録もできるため、初期登録の工数を削減することができます。

### PC 利用者のログ管理

OSログイン・ロック解除、常時認証・覗き込み検知の認証結果をログとして保存します。また、ログオン時/ロック解除時の顔画像をログとして保存可能なため、不正使用を防止する心理的効果が期待できます。

The screenshot shows the '認証ログ一覧' (Authentication log list) screen. It displays a table with columns for '日時' (Date/Time), 'ユーザ名' (User Name), 'デバイス名' (Device Name), '認証結果' (Authentication Result), and '備考' (Remarks). The table contains several rows of log entries.

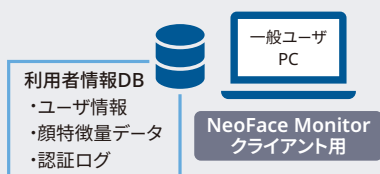
【認証ログ一覧】

## システム構築イメージ

スタンダードから大規模なサーバ管理まで対応可能です。現在のシステム構成や運用形態に合わせて柔軟な導入/運用が可能です。

### ◆ローカル管理構成

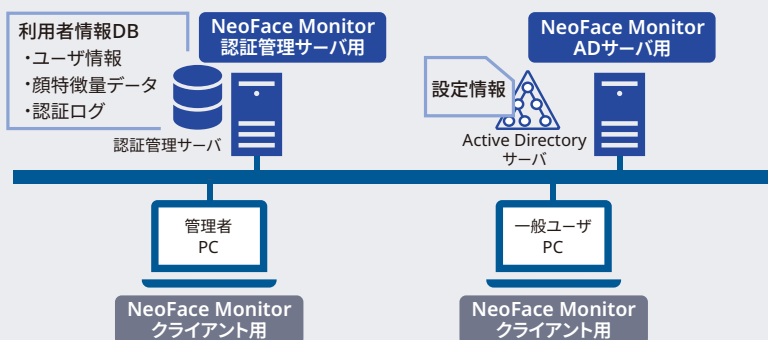
下図は、PC毎に利用者情報を格納して運用する構成です。この他にも、Active Directoryサーバを立ててドメインにログインする構成にも対応しています。



\*: この場合はNeoFace Monitor ADサーバ用ライセンスは不要です。

### ◆サーバ管理構成

下図は、認証管理サーバに利用者情報をまとめて格納し、Active DirectoryサーバでDBのアクセス先情報などを管理して運用する構成です。この他に、Active Directoryサーバにソフトをインストールせずに運用する構成、加えてActive Directoryサーバが不要な構成にも対応\*しています。





# 動作環境

## クライアント用ソフトウェア動作環境

NeoFace Monitor V8 クライアント用	
対応OS <sup>*1</sup>	Windows® 11 Pro Version 23H2/24H2 Windows® 11 Enterprise Version 22H2/23H2/24H2 Windows® 11 IoT Enterprise Version 22H2/23H2/24H2 <sup>*2</sup> Windows® 11 Enterprise LTSC 2024 Windows® 11 IoT Enterprise LTSC 2024 <sup>*2</sup> Windows® 10 Pro Version 22H2 (64ビット版) Windows® 10 Enterprise Version 22H2 (64ビット版) Windows® 10 Enterprise 2016 LTSB/2019 LTSC/2021 LTSC (64ビット版) / 2024 LTSC (バージョン24H2ベース) Windows® 10 IoT Enterprise 2016 LTSB/2019 LTSC/2021 LTSC (64ビット版) / 2024 LTSC (バージョン24H2ベース) <sup>*2</sup>
OS言語	日本語版
CPU	複数物理コアを有する2.0GHz以上のCPU <sup>*3</sup> Intel® Core™ i シリーズ相当を推奨します。
メモリ容量	2GB以上
ディスク容量	インストールに必要なハードディスク容量:3.0GB 認証情報量やログの出力量に応じて追加に必要な容量 <sup>*4</sup>
Webカメラ <sup>*5</sup>	PC内蔵の場合:7.68万画素 (320×240ピクセル) 以上 外付けの場合:7.68万画素 (320×240ピクセル) 以上、USB 2.0以降の製品

## 認証管理サーバ用ソフトウェア動作環境

NeoFace Monitor V8 認証管理サーバ用	
対応OS <sup>*1</sup>	Windows Server® 2016 (Standard) Windows Server® 2019 (Standard) Windows Server® 2022 (Standard) Windows Server® 2025 (Standard)
OS言語	日本語版
CPU	複数物理コアを有する2.0GHz以上のCPU Intel® Xeon® Processor 4Core 3.0GHz相当以上のCPUを推奨します。
メモリ容量	2GB以上
ディスク容量	インストールに必要な最低ディスク容量:250MB 以上 認証情報量やログの出力量に応じて追加に必要な容量 <sup>*3</sup>
対応データベース	Microsoft® SQL Server® 2016 Enterprise/Standard/Express x64 SP3 Microsoft® SQL Server® 2017 Enterprise/Standard/Express x64 Microsoft® SQL Server® 2019 Enterprise/Standard/Express x64 Microsoft® SQL Server® 2022 Enterprise/Standard/Express x64
データベース言語	日本語版

## Active Directoryサーバ用ソフトウェア動作環境

NeoFace Monitor V8 ADサーバ用	
対応OS <sup>*1</sup>	Windows Server® 2016 (Standard) サポートされるAD機能レベル:Windows Server® 2008/2008 R2/2012/2012 R2/2016 Windows Server® 2019 (Standard) サポートされるAD機能レベル:Windows Server® 2008/2008 R2/2012/2012 R2/2016 Windows Server® 2022 (Standard) サポートされるAD機能レベル:Windows Server® 2008/2008 R2/2012/2012 R2/2016 Windows Server® 2025 (Standard) サポートされるAD機能レベル:Windows Server® 2016/2025
OS言語	日本語版
CPU	複数物理コアを有する2.0GHz以上のCPU Intel® Xeon® Processor 4Core 3.0GHz相当以上のCPUを推奨します。
メモリ容量	2GB以上
ディスク容量	110MB以上

- <sup>\*1</sup>: Microsoft社がサポートを実施しているOSバージョンがNeoFace MonitorとしてサポートするOSバージョンとなります。
- <sup>\*2</sup>: 評価済みの端末は下記NEC製シンクライアント端末となります。その他シンクライアント端末でご利用になる場合は、事前の評価をご実施ください。
- ・ Express5800シリーズUS320g
  - ・ VersaProシリーズ Windows 11 IoT Enterprise 22H2/23H2/24H2モデル、Windows 11 IoT Enterprise 2024 LTSCモデル、Windows 10 IoT Enterprise 2021 LTSCモデル、Windows 10 IoT Enterprise 2019 LTSCモデル、Windows 10 IoT Enterprise 2016 LTSBモデル
- <sup>\*3</sup>: 上記のCPUスペックを下回る環境でご利用いただく場合は、顔認証を行う際の画面遷移や描画が遅くなる可能性がありますので、事前に実機を使った評価をお願いいたします。
- <sup>\*4</sup>: 以下のデータは参考量です。登録データサイズ、ログデータサイズは認証方法や設定内容、カメラの性能によって異なる場合があります。
- (1) 登録データ:アカウント1名あたり約2KB、利用者1名あたり約2KB、顔1つあたり約1.5MB
  - (2) ログデータ:ログオン1回あたり:テキストのみ約0.7KB/ログ画像あり:約2.7KB (テキスト約0.7KB、画像約2KB)、常時認証/覗き込み検知の認証タイミング1回あたり:約0.7KB
- <sup>\*5</sup>:仕様により利用できない場合があります。動作確認済みカメラはWebページにてご確認ください。
- ※その他仕様及び最新の情報はWebにてご確認ください。
- <https://jpn.nec.com/bpc/promotion/nfm/requirement.html>

## NEC プラットフォーム・テクノロジーサービス事業部門

<https://jpn.nec.com/bpc/neoface>



●Microsoft、Windows、Windows Server、Active Directory、SQL Serverは、米国Microsoft Corporationの米国およびその他の国における商標または登録商標です。 ●インテル、Intel、インテル Core、およびXeonはアメリカ合衆国およびその他の国におけるインテルコーポレーションまたはその子会社の商標または登録商標です。 ●その他本カタログに記載されている会社名および商品名は、各社の商標または登録商標です。 ●本製品の輸出 (非居住者への役務提供等を含む) に際しては、外国為替及び外国貿易法等、関連する輸出管理法令等をご確認の上、必要な手続きをお取りください。ご不明な場合、または輸出許可等申請手続きにあたり資料等が必要な場合には、お買い上げの販売店またはお近くの弊社営業拠点にご相談ください。 ●このカタログに記載された仕様、価格、デザインなど予告なしに変更することがあります。

# 価格表〈ソフトウェアライセンス〉

## クライアントライセンス

型番	品名	希望小売価格 (税別)
UWT01Y-N8010-I	NeoFace Monitor V8 クライアント用-i/SW (i配信、ライセンス無) <sup>*1</sup>	1,200円
UWT01Y-N8011-I	NeoFace Monitor V8 クライアント用-i/1L <sup>*2</sup>	16,500円
UWT01Y-N8012-I	NeoFace Monitor V8 クライアント用-i/10L <sup>*2</sup>	165,000円
UWT01Y-N8013-I	NeoFace Monitor V8 クライアント用-i/100L <sup>*2</sup>	1,510,000円
UWT01Y-N8014-I	NeoFace Monitor V8 クライアント用-i/1000L <sup>*2</sup>	12,550,000円
UWT01Y-N8015-I	NeoFace Monitor V8 クライアント用-i/10000L <sup>*2</sup>	98,750,000円

## 認証管理サーバライセンス

型番	品名	希望小売価格 (税別)
UWT01Y-N8020-I	NeoFace Monitor V8 認証管理サーバ用-i/SW (i配信、ライセンス無) <sup>*1</sup>	1,200円
UWT01Y-N8021-I	NeoFace Monitor V8 認証管理サーバ用-i/1L <sup>*2</sup>	142,800円

## Active Directoryサーバライセンス

型番	品名	希望小売価格 (税別)
UWT01Y-N8030-I	NeoFace Monitor V8 ADサーバ用-i/SW (i配信、ライセンス無) <sup>*1</sup>	1,200円
UWT01Y-N8031-I	NeoFace Monitor V8 ADサーバ用-i/1L <sup>*2</sup>	142,800円

<sup>\*1</sup>:ソフトウェアにはライセンスは含まれておりません。別途ライセンスのご購入が必要です。

<sup>\*2</sup>:別途ライセンス分の保守のご購入が必要です。

※ライセンスはPC台数でのカウントとなります。仮想PCにNeoFace Monitorをインストールする場合は、手元PCもしくは仮想PCのうち台数が多い方の数量分ライセンスをご購入ください。

※ライセンスの詳細は、Webページにてご確認ください。

### PP・サポートサービスについて

PP・サポートサービスとは、お客様ご購入されたソフトウェア製品の技術サポートを有償にて提供するサポートサービスです。

ライセンスのみ購入やサポートサービスの更新の場合は、別途PP・サポートサービスのご購入が必要です。

PP・サポートパックのご購入がない場合、お客様からのお問合せやWindowsアップデートに関するサポート提供ができなくなります。

詳しくは  
<https://jpn.nec.com/bpc/promotion/nfm/price.html>  
にてご確認ください。

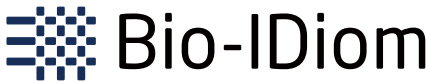
### API連携キットをご用意

NeoFace Monitorの顔認証機能をAPIで提供いたします。APIのご利用にはAPI連携キットのご購入と業務アプリケーション側での開発作業が必要です。

なお、顔認証の利用用途によっては、API連携キットの販売をお断りする場合もございますので、ご理解願います。

詳細は、お買い上げの販売店またはお近くの弊社営業拠点にご相談ください。

## NECの生体認証



「Bio-IDiom (バイオイディオム)」は、顔、虹彩、指紋・掌紋、指静脈、声、耳音響など、NECの生体認証の総称です。世界トップクラスの技術や様々な実績を活かし、ニーズに合わせて生体認証を使い分け、あるいは組み合わせることで、「誰もが安心してデジタルを活用できる世界」を実現していきます。